

コミュニティ自立研究会

〔委員長〕

山田晴義（やまだ はるよし） 宮城大学副学長



1943年愛知県生まれ。明治大学大学院工学研究科修士課程(建築学専攻)修了。工学博士。東北工業大学、岩手県立大教授、宮城大学事業構想学部教授を経て、2007年から現職。宮城大学地域連携センター長を兼務。専門は、コミュニティの再生方法、地域計画の参加型計画方法に関する研究など。岩手県立大名誉教授。

著書に『地域コミュニティの支援戦略』(編著、ぎょうせい)、『コミュニティの自立と経営』(編著、ぎょうせい)、『コミュニティ再生と地方自治体再編』(共編著、ぎょうせい)、『協働で地域づくりを「変える」「つなぐ」「活かす』(共著、ぎょうせい)、『遠野スタイル』(共編著、ぎょうせい)ほか。

〔委員〕

加藤哲夫（かとう てつお）特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事



1949年福島県生まれ。市民活動、出版活動等を経て、1997年に「せんだい・みやぎNPOセンター」を設立。1999年にNPO法人化。全国のNPO活動を牽引するリーダーとして、NPOマネジメント、協働などをテーマにした講演会・研修会で全国を駆け回る。また、地域社会の協働の仕組みづくりに向けた実践的活動にも数多く取り組んでいる。宮城大学非常勤講師。多賀城市の地域経営アドバイザー。

著書に、『地域コミュニティの支援戦略』(共著、ぎょうせい)、『コミュニティの自立と経営』(共著、ぎょうせい)、『コミュニティ再生と地方自治体再編』(共著、ぎょうせい)、『市民の日本語』(ひつじ書房)、『一夜でわかる!「NPO」の作り方』(主婦の友社)ほか。

〔委員〕

櫻井常矢（さくらい つねや）高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科准教授



山形県生まれ。東北大学大学院教育学研究科後期博士課程修了。教育学博士。専門は社会教育学、生涯学習論、地域づくり教育。地域づくりのプロセスに住民主体の調査・学習等のワークショップ活動や NPO の事業活動を介在させた社会実験を各地で展開。人材育成を軸としたコミュニティ再生や住民自治システムの構築に実践的に取り組む。住民向け学習会や行政職員研修を各地で重ねる。宮城県大崎市政策アドバイザー、山形県地域コミュニティ再生促進事業アドバイザー。

著書に、『地域コミュニティの支援戦略』（共著、ぎょうせい）、『コミュニティの自立と経営』（共著、ぎょうせい）、『コミュニティ再生と地方自治体再編』（共著、ぎょうせい）、『地域政策と市民参加』（編著、ぎょうせい）、『NPO の教育力』（共著、東京大学出版会）ほか。

〔委員〕

鈴木孝男（すずき たかお）宮城大学事業構想学部助教



1971 年秋田県生まれ。東北工業大学大学院研究科修士課程（建築学専攻）修了後、地域計画策定やワークショップ運営に携わる。まちづくりに関わる調査研究、政策提言、情報提供を行う特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラムの代表理事を務める。

著書に、『地域コミュニティの支援戦略』（共著、ぎょうせい）、『コミュニティの自立と経営』（共著、ぎょうせい）、『コミュニティ再生と地方自治体再編』（共著、ぎょうせい）、『協働で地域づくりを「変える」「つなぐ」「活かす』』（共著、ぎょうせい）ほか。